

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	レジリエンス・スポーツセンター		
○保護者評価実施期間	令和7年1月22日	～	令和7年3月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 53人	(回答者数)	48人
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日	～	令和7年3月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンでの運動療育により、子ども一人ひとりに合った内容のプログラムを提供が可能となり、成功経験から自信につなげることができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの希望に合わせて、個別レッスン・同室レッスンを分けている</li> <li>子どもの得意・不得意を見極め、どうやったらクリアできるかを考えモールステップで成功につながるよう工夫している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未就学児は年齢や月齢による運動発達の違いが顕著に出るため、定型発達の基準を知り、今の子どもの状態に合った運動内容を提供できるように職員研修を充実させていく</li> <li>子どもの支援内容の情報共有を行い、つながった支援をしていけるように職員間で連携をしていく</li> </ul>
2	マンツーマン型の集団療育により、集団場面での苦手さがあるお子様にも、丁寧に対応して成功経験につなげることができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんスポ(小集団)や野球教室、サッカー教室、プール教室、その他イベントを開催している。</li> <li>集団レッスンでもマンツーマンでスタッフが対応することで、集団場面での苦手さがあるお子様にもモールステップで成功につながるように工夫している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新人スタッフが加わる場合、暗黙のルール(子どもの活躍が引き立つような配慮や勝ち負けの配慮など)を事前に確認し、全員で共通認識を持ったうえで集団療育に携われるように引き続き情報共有していく</li> </ul>
3	個別支援計画に基づいて、お子様一人ひとりに合わせた支援内容を考え、提供することができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリングで保護者様、お子様のニーズを聞き取りし、それに沿った個別支援目標を立てている</li> <li>過去の支援記録・個別支援計画を一覧で見ることができると、支援前にはその内容を確認し、その日担当のスタッフが支援内容を組み立てて提供できている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きモニタリングをしっかりと行いニーズをくみ取ることで、お子様に合った個別支援目標を立てていき、達成に向けて支援内容を提供できるように情報共有していく</li> <li>未就学児は排泄面での課題が多くあるため、自立に向けた取り組みを運動面でアプローチしていく</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様の好きな種目が限られていると、プログラムが固定化してしまう場合がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様に種目を選んでもらうスタイルのため、同じ種目を選択しがちになることもしばしばある</li> <li>お子様によって声かけの仕方によってはリクエストを受け入れづらい場合もあるため、スタッフ側の知識や事前情報が必要になってくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画や過去の支援記録を見返し、同じ種目を選んでしまうお子様に関しては、スタッフが受け身になるのではなく、積極的にリクエストをしたり、お子様が意欲的に挑戦できるようにアプローチをしていく</li> </ul>
2	集団プログラムの頻度を増やしてほしい、予約が取りやすくなしてほしいというお声がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>元々個別療育へのニーズが高いため、個別療育との頻度のバランスを鑑みて現在の集団療育の頻度となっている</li> <li>プール教室は借りられる曜日や時間について施設の都合があり、特に長期休み期間は他の事業所との兼ね合いも出てくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様のお声を踏まえて、みんスポやプール教室など特に人気の高いものの回数の検討をしていく</li> <li>保護者様によっては「うちの子は集団療育に参加していいの？」と迷われている方もいるため、不安な要素を取り除きながら、安心して参加できるような支援をしていく</li> </ul>
3	時々支援者の空気が悪い、というお声が今回の自己評価アンケートで出た	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常に恥ずべきこと。個別レッスンでは担当スタッフに責任が伴うが、サブスタッフとの連携が取れていないとレッスンの空気はもちろん質も悪くなってしまふ。コミュニケーション不足や意見の不一致が考えられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず職員でこの件を話し合い、今後どう対処するかを再確認した。各スタッフで意見の不一致があった際は、お互いの意見を尊重しながら折り合いをつけたり、日頃からコミュニケーションを取っていくことで空気感を良くしていけるように工夫する</li> <li>ハラスメント委員会や研修を開催し、「上司・同僚・後輩への言葉かけの仕方」を改めて学習する</li> </ul>

事業所名 レジリエンス・スポーツセンター（児童発達支援）

公表日 令和 7 年 3 月 29 日

利用児童数 53人

回収数 48人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	49					一人ひとりに合わせた運動を提案させていただければと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	49					今後もマンツーマンレッスンで、手厚く支援できるよう尽力してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44	3	2			レッスン中はスタッフが安全確保をして対応させていただきます。また、マットなどを活用し、転んでもケガしないように対策していきたいと思えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	48	1				今後とも安心して通っていただけるよう、掃除や除菌など引き続き行っていければと思います。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	48	1			とても本人の特性や表情等をよくみながら支援していると思えます。	よりよい支援につながるよう、研修や日々の勉強を行っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	49					プログラムに沿って継続してよりよい支援につながっていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	47	1			いつも子どもに寄り添ったお声がけが有り難いです	保護者さん、お子さんのニーズに寄り添い、就学に向けて本人にあった計画を立て、しっかり支援できることを大切にしています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46					5領域に沿った支援を行っていきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	2	1			本人の様子や支援計画に沿った支援が提供できるよう、スタッフで情報共有を徹底して行い、よりよい支援につなげていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	45	3	1		こどもの好きな種目が決まってしまっているため、もっと色々な種目を取り入れて欲しいです。	・同じ種目に偏らないよう、お子様のニーズをくみとりながら動きや道具につなげていけるよう工夫していきます。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	15	11		・わからない。 ・個別療育等の必要性は感じていない。	個別レッスンを主体になっていますが、今後、交流ができる機会を検討していければと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49					丁寧な説明を心がけ、引き続き丁寧な説明を行っていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	46					丁寧な説明を心がけ、引き続き丁寧な説明を行っていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	43	3	1		参加したいのですが日時が合わず参加できていません。	ペアレントトレーニングは現在開催できていないため、開催できるように調整していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	48	1				職員による保護者様への声掛け会、会議や個別相談時に情報交換し、引き続き共通理解が深まるように努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	46	1	2			療育者としての立場で可能な限り有用な助言ができるよう努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	48	1				来所時の会話を大切に、充実できるように努めます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	41	4	3		参加したいのですが、日時が合わず参加できていません。	月1回、テーマを設けて保護者懇談会を開催しており引き続き、開催していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	48	1				利用の際に保護者様とお話させていただいております。改めて相談の受け入れができることを周知していきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	1				利用時に保護者様とお話させていただいております。引き続き、保護者様との情報伝達に努めます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	47		1			毎月「月刊レジスポ」やHUGでの配信させていただいております。引き続き、配信していきます。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	49					個人情報に関しては徹底しております。改めて厳重な取り扱いをしていきます。	
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40	6	2		訓練無し	職員全員で訓練内容は把握しており、定期的に訓練を実施しています。様々なマニュアルを気軽に見て頂けるよう、周知していきます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	17	3		わからない 訓練無し	個別レッスンの関係上、訓練は全体で実施することは難しく、保護者様にはその旨ご理解いただけるよう周知いたします。また、実施した際にはお知らせしていきます。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	46	3				安全確保を維持し、危険な要因は新たに対策を講じていきます。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	6	1		子どもに付き添って見学しているため	ケガや事故が起こらないように、職員間で想定されることを共有させていただいています。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	49				安心して通所できる環境を整えていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	48	1		いつも通園を楽しみにしており、登園後も楽しみながら活動に参加する事ができています。 いつもとても楽しみにしています	楽しく体を動かし、自信を持って様々なことに挑戦できるように支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	48	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供への対応、保護者に対しても丁寧に対応して下さり、親子共々楽しみにしています。</li> <li>・いつも大満足で通所出来ています。</li> <li>・子どもにはとてもあつている支援が提供されておりとても満足しております。</li> <li>・もう少し小規模集団での活動があると嬉しいです。</li> <li>・同じメンバーが参加していることが度々見られるので、他の人も参加できるように小規模クラスの時間数増や、他の時間帯でも行えるようにしていただくと嬉しいです。</li> <li>・いつも楽しんで活動に取り組めるように、支援して頂き、大変感謝しています。</li> <li>・活動中の声かけなど、とても参考になっています。今後もよろしくお願ひいたします。</li> <li>・予約が、とりやすくなると、良いです。</li> <li>・子どもはとても楽しんでいますがたまに 支援者の空気が悪い時があります。子どもはまだ幼くて感じとって居ないようですがコミュニケーションが取れてないのかな？と思う事がありました。</li> <li>・体の使い方が上手くなってきて、スポーツを通して自信を付けられる機会が増えたように思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用いただいている皆様に満足いく支援をしています。</li> <li>・ご指摘いただきました内容について、不安を感じさせてしまい申し訳ございません。再度しっかり支援者のレッスンの質の向上を目指し、密にコミュニケーションを図り、明るい空気・雰囲気レッスンの努めます。</li> </ul>

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月26日			
レジリエンス・スポーツセンター					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		少し天井が低いと感じる
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	シフト上適切	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	視覚刺激は多いが、パーテーション等で刺激を減らす配慮をしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日清掃している	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		第三者委員はあるが、評価までは受けていない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	集団プログラムの前は全員で活動内容や配慮事項、緊急時の対応を確認している	必ずではない
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・集団プログラムの後は振り返りをしている ・メインスタッフ・サブスタッフで振り返りをしている	必ずではない
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	会議内で情報共有している	分からない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	保護者懇談会にセンターの職員をお呼びして情報共有、助言を受ける場を設けた	分からない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0			

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者からの聞き取りで対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・事例をもとに話し合いをしている ・実際にヒヤリハットが起きた時、ビデオ映像をもとに改善点を話し合った	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		